

# 英語科学習指導案

令和元年10月9日(水) 第5校時(13:40～14:30) 2年〇組 指導者 〇〇 〇〇  
ALT 〇〇〇〇

**I 題材名** Unit 5「だれもが生活しやすい学校について考えよう」  
Universal Design (New Horizon English Course 2)

## II 学習指導要領上の位置付け

目標(4) 話すこと [発表]

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

内容 オ 話すこと [発表]

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。

## III 目標

- (1) 身近な話題について、伝えたい事実や考えを、簡単なスピーチとして積極的に伝えようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 身近な話題についての自分の考えに、理由や条件等を加え、相手に伝わるよう展開や構成を工夫し、書いたり話したりすることができる。(表現)
- (3) スピーチ活動で、聞き手の質問や反応に適切に応じることができる。また、教科書等の英文を読み取り、内容をつかむことができる。(理解)
- (4) 名詞節・副詞節を導く接続詞の用法・文構造を理解している。聞き手にわかりやすいスピーチの展開について知識を持っている。(言語・文化)

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 教材観

ユニバーサルデザインとは、老若男女、障がいの有無、国籍を問わず「誰にとっても快適な」ものや、そういった考え方そのものを指す。本題材では、自分たちの学校生活を、この考えに基づいて見つめ直し、自分たちにとって身近な「学校」をよりよくすることについて考える活動を設定した。このことにより、新出言語材料である従属節を伴う接続詞を使う必然性を生み、生徒が接続詞の有用性に気づけるようにしたいと考えた。また、よりよい社会について考える基礎を作り、社会的な話題に興味・関心を持つことにもつなげていきたい。

## VI 本時の展開 (5/10)

### 1 ねらい

教科書の「車いす体験」の感想文に近い内容の英文を読み、その内容理解を通して、だれにとっても生活しやすい学校作りについて、自分の考えを深めることができる。

### 2 展開

学習活動 (分)	○: 留意点	点線囲: 評価	☆: 振り返りの子どもの意識
<b>1 あいさつ, ウォームアップをする。(10分)</b> Mini Talk ○既習事項を使ってやり取りさせる。 ○一回目の活動の後, 表現できなかったことや間違いを指導・修正し, 相手を替えてもう一度活動をさせる。			
<b>2 本時のめあてをつかむ。(10分)</b> ○前事の復習として教科書の「車いす体験」についての感想文を読み, ALTとのQ&Aを通して内容の理解を深める。 ○ALTとの簡単なやりとりを通して, 接続詞whenを用いた英文の用法を復習し, 本時のめあてをつかませる。 <u>When</u> you hear the word “wheelchair,” what do you think of first? <u>When</u> you used a “wheelchair,” how did you feel? <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 「○○中での体験」を読んで, だれもが生活しやすい学校について自分の考えを深めよう</div>			
<b>3 教科書本文に近い内容の英文を読み, 考えを深める。(25分)</b> ○教師の実体験を元にした英文をさらに読み, 教科書で用いられている表現を理解しているか確認させる。 ○読み取った英文から「困っている人に対して自分ができること」について, 自分の考えを持たせる。 ○ペアで互いに伝え合い, 考えを共有させる。 ○「困っている人に対して自分ができること」について, 自分の考えを簡単に書いてまとめさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">体験談を読んでその内容を理解し, ユニバーサルデザインの考え方について新たな視点を踏まえ, 自分なりの考えや感想を述べている。&lt;理解&gt;</div>			
<b>4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)</b> ○本時の活動を振り返り, Grow-up Sheetに感想をまとめさせる。 ☆体験談を読んで, 内容を理解することができた。【言語面】 ☆みんなが生活しやすい学校には, 助け合いや思いやり, 相手を理解しようとする心が大切だ。【内容面】			

< ゴール例 1 >

A: What do we need for our school?

B: I think (that) we need a school bus.

A: A school bus? Why?

B: Because some students live far away from our school.

If they injure their bodies, they cannot ride a bike to school. And sometimes we feel scared when we have to leave school late after club activities.

A: I see. That's a good idea. Do you have any ideas, C ?

C: Yes. I think (that) we need to remove the steps between classrooms and corridors. The steps are very dangerous for everyone, especially for injured or handicapped people. If people in a wheelchair come to our school, they cannot come into the classrooms by themselves.

A: That's right. I think (that) we need to make ramps. If we can do it, anyone can live in comfort at *San-chu*.

B: I think so, too.

< ゴール例 2 >

A: What do we need for our school?

B: I think (that) we need to study English.

A: Why do you think so?

B: Because some students from other countries don't know Japanese.

If we study English, we can communicate with them, and help them a lot.

A: I see. I think so, too. When we see people in need, we must help them. To live in *San-chu* happily, I think (that) we need to help each other.